

# “着 zhe”の意味機能に関する考察

——《雷雨》を資料として——

郭 雲 輝

## 0. はじめに

中国語における、アスペクト (aspect) 的意味を表す“着 zhe”は助詞とされたり、動詞の語尾とされたりしているが、これは、アスペクトのマーク (mark) に対するとらえ方の違いを反映するものである。本稿は、紙幅の関係でそういった問題には立ち入らず、戯曲という特殊なジャンルにおける“着”の意味機能を記述するものである。資料は曹禺の代表作の一つである《雷雨》(《曹禺文集》吉林摄影出版社、2000) を使用している。

## 1. 《雷雨》における“着”の量的分布

《雷雨》を対象に調査した結果、アスペクト的意味を表す“着 zhe”は535回(延べ語数)使われていることが分かった。〈台詞〉と〈ト書き〉に分けてみると<sup>1)</sup>、173:362と、〈ト書き〉が〈台詞〉を大きく上回っていて、倍あまりになっている。このことは、戯曲というジャンルの特殊性によることもあるだろうが、第4章で論じているように、何よりもまず“着”の果す〈同時〉というテキスト (text) 的機能によるものだと考えられる。同じ《雷雨》におけるアスペクトのマークである“了<sub>1</sub>”と比較すれば、その違いは一目瞭然である。《雷雨》における“了<sub>1</sub>”の使用回数は803(延べ語数)であり、そのうち〈台詞〉における用例は705個、〈ト書き〉における用例は98個あり、前者の方がはるかに多い。これは何よりも“了<sub>1</sub>”がテキストにおいて〈継起(先行—後続)〉という機能を果していることに起因していると思われる。

## 2. “着”の表すテンス的意味

### 2.1 通説への疑問

“着 zhe”については、これまでは多くの研究者によって取り上げられてきたが、その表す基本的な意味に関する見解は必ずしも一致しているわけではない。“着”をアスペクト的意味を表すマークと見た場合、それがどのようなアスペクト的意味を表すのかは、その付く動詞の語彙的な意味における時間的特性によって決まることは言うまでもない。本論は先行研究の成果を踏まえて、“着”は基本的にアスペクト的意味としての〈継続性〉を表すものだと考えている。“着”の表すアスペクト的意味は第3章において取り上げるが、それに先立ちまず“着”とテンスとの関係に触れておく。

中国語にはアスペクトという文法的カテゴリーはあるが、テンスのカテゴリーはない、これはすでに通説になっているが、あくまでも仮説である。その正しさを証明するためには、少なくとも二つの観点から検証する必要がある。一つは、テンス的意味、つまり〈過去〉〈現在〉〈未来〉を表現するのにそれぞれどういう手段（文法的手段と語彙的手段を含む）が取られているのかを明らかにしなければならない。もう一つは、“了”“着”“过”などの意味用法を綿密に調査し、果たしてテンスとは無関係なのかを証明しなければならない。残念ながら今までの研究はどちらの調査もきちんと行われていないのが現状である。とすれば、中国語にはテンスという文法的カテゴリーがないというのはまだ信用に足るものではない。

事実、数十年前からいわゆるアスペクトのマーク（“了”“着”“过”“来着”など）がテンス的意味も表していることを主張する研究者が何人かいるが、その研究成果は不当に無視されていると言っても過言ではあるまい。新しい成果としては、李鉄根（1999）が体系的に現代中国語におけるテンスの問題を取り上げており、大いに注目すべきである。

### 2.2 本論の主張

本論では、“了”“着”“过”“来着”などは主にアスペクト的意味を表現するマークとして用いられているが、同時にテンス的意味を表現する機能も持ち合

## “着 zhe”の意味機能に関する考察

わせているという考えを支持する。これについては、戴耀晶（1997:32）が現代中国語における“了”“着”は、すでにアスペクトという文法的カテゴリーの表現形式として用いられているから、同時にテンスという文法的カテゴリーの表現形式でありうることはない、と主張しているが、これはあまり説得力がない。ある文法形式がアスペクト的意味を表現すると同時に、テンス的意味も表現するというのは、言語的事実として決して珍しいことではない。日本語の場合もそうである<sup>2)</sup>。

テンス \ アスペクト	完成相	継続相
非過去	スル	シテイル
過去	シタ	シテイタ

本来、一つの文法形式が複数の文法的カテゴリーの意味を表現するのは、形態の発達した言語（屈折語）にはよくあるケースである。したがって、孤立語とされている中国語においても、一つのマークがアスペクト的意味とテンス的意味を同時に表していることは、理論的にも現実的にも可能なわけである。文法化（grammaticalization）のプロセスから言えば、動詞（“了”“着”“过”など）の語彙的な意味が抽象化して、アスペクト的意味を表すようになり、更にテンス的意味も兼ねて表すようになったということであろう。

### 2.3 “着”によるテンス的意味の表現

“着”が<現在（進行）>を表さないことは多くの研究者によって論じられている。確かに“着”を<現在（進行）>を表すものとして英語の「-ing」（進行形）や日本語の「している」（継続相・非過去）と対応させるのは性急にすぎる。しかし、“着”はテンス的意味としての<現在>と無関係かという点、そうではない。結論から述べると、述語として使用される“着”は、何らかのアスペクト的意味を表すと同時に、広い意味での無標（unmarked）の文では、積極的に<現在>というテンス的意味も表しているのである。有標の文では、“着”の表すテンス的意味が後退して、言い換えれば、有標の文では“着”はアスペクト的意味を表現するのに専念するようになり、その文の表すテンス的

意味（正確には「テンポラリティー」）は標記の性質や種類によって決まってくるのである。

### 2.3.1 無標の文における“着”

以下に挙げる“着”の例は、いずれも<現在>というテンス的意味を表しているものと考えられる。まず<台詞>の場合を見てみよう。

- 1) 鲁侍萍 你听, 外面打着雷。(p120)
- 2) 鲁侍萍 一个人在外乡活着。(p83)
- 3) 周蘩漪 他倒是惦记着我。(p34)

<ト書き>においても、同じ用法が見られる。

- 4) 姐弟都紧张地望着她。(p11)
- 5) 朴园站起来, 在厅中来回沉闷地踱着。(p132)
- 6) 鲁妈扶着门闩。(p129)

### 2.3.2 有標の文における“着”

無標の文においては“着”が<現在>を表しているとするれば、有標の文における“着”はもっぱらアスペクト的意味を表現していることは上述した通りである。そのような文では、特定の標記によって時間的指示性が賦与されて、テンス的意味としての<過去>を表したり<現在>を表したり<未来>を表したりしている。ここでは、標記を広くとらえて、センテンスのタイプも特別な文法的形式や語句もコンテキストもいずれも標記の一種と考えている。無論、ある文法的意味を表現するために、複数の標記が併用されることもあるわけである。以下、<過去><現在><未来>に分けて考察してみることにする。

#### 2.3.2.1 <過去>を表す場合

次に挙げる文では、出来事が存在する時間は<過去>であるということを明記しているのは時間副詞や特定な文型（“……的。”）などである。このようなマークが同じ文に現れる場合は多いが、例7)のように先行する文に現れる場合もある。

- 7) 周蘩漪刚才我在鲁家看见你同四凤。

周 萍（惊）什么，你刚才是到鲁家去了。

周蘩漪（坐下）嗯，我在他们家附近站了半天。

周萍（悔惧）什么时候你在那里？

周蘩漪（低头）我看着你从窗户进去。（p141）

周萍（急切）你呢？

周蘩漪（无神地望着前面）就走到窗户前面站着。（p141）

8) 鲁侍萍 那是你们老太太看着孩子快要死了，才叫我带走的。（p86）

### 2.3.2.2 <現在>を表す場合

<現在>を表す場合は、時間副詞“现在”“在”などが多用されている。“着”が使用されている文では、その動作の継続が発話時と<同時>の関係にあることが表現されている。

9) 周朴园 他现在在楼上陪着他的母亲看病。（p88）

10) 现在壁炉里燃着煤火。（p4）

11) 周蘩漪（略）叫我嫉妒的人，都来吧，我在等候着你们。（p66）

12) 鲁侍萍 孩子，天上在打着雷，你要是以后忘了妈的话，见了周家的人呢？  
(p122)

一方、“着”と語気助詞“呢”の併用によって<現在>が表現されている場合もある。言うまでもなく、“呢”のこのような用法は基本的に<台詞（会話文）>に限られている。もっとも、会話文・台詞において“呢”が用いられていないと、文としての完結性を有しない、言い換えれば、文としては成り立たないケースもあるのだが、これは文のモダリティーに関わるもので、基本的に別問題と考えてよいと思う。

13) 鲁大海 四凤没找着，妈在门外等着呢。（p144）

14) 鲁 贵 在门房，跟你哥哥刚见面，说着话呢。（p60）

また、数は少ないが、“着”と時間副詞と語気助詞が同時に用いられる例も見られる。

15) 鲁贵克大夫已经来了，刚才汽车夫接来的，现时在小客厅等着呢。（p76）

<禁止>を表す文の述語の位置に“着”が現れていると、その文はテンスの意味として<現在>を表すようになる。現在継続している動作を中止させる用

法である。

16) 鲁四凤 妈, 您的眼不要直瞪瞪地望着, 我怕。(p72)

17) 周蘩漪 萍, 我盼望你还是从前那样诚恳的人。顶好不要学着现在一般青年人玩世不恭的态度。(略) (p61)

こういった用法は、“着”が用いられていない<禁止>の文と区別されている。つまり、次の例によって示されているように、アスペクト的に無標の場合は、相手が現在行っている動作をやめさせる場合もあれば、相手がこれから行おうとしている動作を制止する場合もある。それに対して、“着”が使用されている<禁止>の文だと、進行中の動作をやめさせるというふうに、限定されてくる。

18) 周 萍 (惊惧地望着她, 退后, 半晌, 颤声) 我——我怕你真疯了!

周蘩漪 (安慰地) 不, 你不要这样说话。只有我明白你, 我知道你的弱点, 你也知道我的。你什么我都清楚。(诱惑地笑, 向周萍奇怪地招着手, 更诱惑地笑) 你过来, 你——你怕什么?

周 萍 (望着她, 忍不住地狂喊出来) 哦, 我不要你这样笑! (更重) 不要你这样对我笑! (略) (p140 ~ 141)

### 2.3.2.3 <未来>を表す場合

働きかけ文は、テンス的には<未来>を表す。“着”がこういった文に使用されていると、アスペクト的には<継続>を表している。つまり、その動作を継続するように、相手に働きかけるのである。そのような文の表すモーダルな意味は、細かく分けると、<命令>だったり<依頼>だったり<提案>だったりしてバラエティーに富む。

#### A. <命令>

19) 鲁侍萍 那么我们一同出去吧。四凤, 你等着我, 我就回来! (p108)

20) 周朴园 你要注意这儿 (指头), 记着克大夫的话, 他要你静静地, 少说话。(p135)

#### B. <依頼>

21) 鲁四凤 老爷说太太的病很重, 嘱咐过请您好好地楼上躺着。(p33)

C. <提案>

22) 鲁四凤 太太, 您脸上像是发烧, 您还是到楼上歇着吧。(p33)

次に挙げる例は、働きかけ文ではないが、特別な語句（モーダルな助動詞、時間副詞など）によって<未来>が表現されるものである。

23) 鲁四凤 你知道我不喜欢, 我愿意老陪着您。(p58)

24) 鲁 贵 (对四凤) 四凤, 你听你妈要带着你走。(p106)

25) 周朴园 太太现在在楼上。你叫大少爷陪着克大夫到楼上去给太太看病。  
(p80)

26) 鲁侍萍 大后天我就带着四凤回到我原来的地方。(p87)

3. “着”の表すアスペクト的意味

“着”にとっては、テンス的意味を表すのはその二次的機能であり、アスペクト的意味を表すのはその一次的機能であると言ってよいだろう。上述したように、<継続性>というのが“着”の表す基本的なアスペクト的意味である。それに対して、<様態性><パーフェクト性><反復性>はその副次的なアスペクト的意味である。

3.1 継続性を表す場合

“了<sub>i</sub>”の表す基本的なアスペクト的意味が<ひとまとまり性+限界への達成性>であるとすれば、“着”の表す基本的なアスペクト的意味は<限界への未達成性=継続性>である。<継続性>とは、<動作や状態が継続していて、まだ終わりの限界に達していない>ということである。現実の世界の人間にしても文学作品における登場人物にしても、ある動作を継続している、或いはある状態が継続していることはほかの人間や登場人物と区別されるための特徴ともなるわけである。つまり、人間や登場人物の存在の仕方を特徴づけるために<継続性>を表すアスペクト的表現が使用されることがあるのである。

以下では、<ト書き>における“着”の用法を中心に考察していくことにするが、次に挙げるのは、“着”が動作や状態や現象の<継続>を表す例である。

27) [(略) 她把灯转暗, 倚在桌上帝听着。(p124)

- 28) [(略) 他低声唤着四凤。(p24)
- 29) 他穿一件白汗衫, 半臂已经汗透了, 贴在身上, 他不住地摇着芭蕉扇。(p99)
- 30) [(略) 仆人们停止打大海, 仍拉着大海的手。(p92)
- 31) [(略) 周萍扑在沙发上, 鲁妈死气沉沉的立着。(p165)
- 32) [(略) 四凤跪下, 向鲁妈叩头, 四凤落泪, 鲁妈竭力忍着。(p159)
- 33) [(略) 屋外敲着一声一声的梆子。(p123)

しかし、日本語のテンスやアスペクトの表現形式である「スル／シタ／シテイル／シテイタ」が終止形として（主文の）文末に使用される場合は文がそれで切れるのと違って、中国語の場合では、“了”“着”“过”などのマークが使用されていても、文は必ずしも終わらない。むしろ続いている場合が多い（少なくとも“着”についてはそういうことが言える）。これは類型論的な語順のタイプの相違によるものだと考えられよう。具体的に言うと、SOV型の日本語に見られる動詞の終止と非終止との対立とは違って、SVO型の中国語では、文の終了のし方は強制的でもなければ、形式も一定していない。つまり、文終止の形式が発達していない。“了”“着”“过”に限って言えば、文を終了させる力をあまり持っていないということもできるだろう。アスペクト的意味を表すマークが用いられていても、文がなお続いているとすれば、後続している句（分句）と、アスペクトのマークが使用されている句との関係も看過できない。《雷雨》における“着”の例を見ている限りでは、いくつかのタイプに分けられる。

### 3.1.1 後続する句が話し手（＜台詞＞の場合）と語り手（＜ト書き＞の場合）の評価を表す場合

- 34) 周冲没有。我坐着家里的车, 很有趣的。(p110)
- 35) 在阳光底下, 他的脸呈着银白色, 一般人说这就是贵人的特征。(p47)
- 36) 他的眼睛锐利, 常常贪婪地窥视着, 如一只狼; (略) (p13)
- 37) 他骄傲地笑着, 比起来, 这母子的单纯的欢欣, 他更是粗鄙了。(p67)

### 3.1.2 後続する句が場面についての詳しい説明となっている場合

- 38) 以后闪电更亮得蓝森森地可怕, 雷也更凶恶似地隆隆地滚着, 四周却更沉



闷地静下来, (略) (p98)

39) [(略) 旁边燃着<sub>着</sub>一个立灯, 四周是黑暗的。 (p130)]

3.1.3 後続する句が登場人物や話題の人物についての詳しい説明となっている場合

40) 周蘩漪 请坐!你来了好半天啦。(鲁妈只在打量<sub>着</sub>, 没有坐下) (p75)

41) 现在他用一条抹布擦<sub>着</sub>东西, 脚下是他刚刚好的黄皮鞋。(p13)

3.1.4 後続する句が同一の登場人物の後続する動作を描写する場合

42) 姐 姐 (听<sub>着</sub>有兴趣, 忙摇头, 压迫地, 低声) 弟弟! (p8)

43) 鲁侍萍 (呆呆地看<sub>着</sub>周萍的脸, 忽而又大哭起来) 大海, 走吧, 我们走吧。  
(p93)

3.2 様態性を表す場合

上述したように、“着”を従えている動詞が文の中で述語として機能するのは、その中心的な用法ではあるが、一方では、二つの動詞が共起して同一主体の異なる動作を名づけているような文においては、“着”は先行する動詞に付いてその動作が継続していることを表すような用例も少なくはない。とすれば、この場合の“着”は二つの動作が時間的に同時であることを表しているとも考えられそうだが、二つの動詞の表す動作の間の関係を考慮に入れると、そういうことが言えなくなるだろう。つまり、まったく別々の二つの動作が同時に存在するのと違って、このような構文においては、3.2.1以下に示すように、後続する動詞の表すのは主要な動作であり、“着”の形を取る先行する動詞の表す動作は、後続する動詞の表す動作に対してその動作を行う時の様態(様子)を表しているため、従属的なものである。本質的には、二つの動詞が一つの複合的な動作を表し、先行する動詞は後続する動詞の表す動作を特徴付ける機能を果している、ということになる。ロシア語の場合、先行する動詞は副動詞であり、形態的にも後続する述語となる動詞と異なっている。日本語の場合は、先行する動詞は、「Vて/Vながら/Vたまま」などと、非終止の形を取るのが義務的である。このように他の言語と比較した場合は、中国語では、述語動詞の<継続性>というアスペクト的意味を表すマークと、動作の<様態性>と

いう意味を表す時に採用しているマークは同一であるということになる。このことは、中国語における動詞の語形が未発達である、言い換えれば、分化していないということを物語っているだろう。＜継続性＞を表す“着”の用法と＜様態性＞を表す“着”の用法と区別するのは、次のような理由にもよる。＜継続性＞を表す述語動詞“V着”はそのまま文が終わることもあるが、“V着呢”というふうに語気助詞“呢”が付くことも可能である。が、＜状態性＞を表す“V着”はそうはいかない。後者はむしろ機能的には連用修飾語（状語）に近づいていると考えられる。

以下は、アスペクトのマークである“着”を従えている先行する動詞の表す動作と後続する動詞の表す動作との間の関係に基づいて、いくつかにタイプ分けしたものである。その中には、いわゆる「兼語」や「連謂」の構文が見られる。

### 3.2.1 人に働きかける動作を表す場合

- 44) [姑甲领着老人进左面的饭厅下。] (p6)  
 45) 鲁四风 (放开胆) 哦!萍! (抱着周萍抽咽) (p152)

### 3.2.2 物に働きかける動作を表す場合

- 46) 鲁四风 (略) (挥着扇, 微微叹一口气) (p100)  
 47) [四风下。鲁妈周围望望, 走到柜前, 抚摩着她从前的家具, 低头沉思。] (p74)

### 3.2.3 動作者自身に働きかける再帰的な動作を表す場合

- 48) 鲁四风 (厌倦地摸着前额, 自语) 哦, 妈呀! (p23)  
 49) 周萍 (握着拳抑制自己) (p147)

### 3.2.4 方法・目的となる動作を表す場合

- 50) 周朴园 你是我的长子, 我不愿意当着人谈这件事。 (p53)  
 51) 鲁四风 (略) 回头, 见着妈, 再想别的法子, 这钱, 您留着自己用吧。 (p25)

### 3.2.5 ある状態を引き起こすきっかけとなる動作を表す場合

- 52) 鲁四风 老爷说太太不舒服, 怕您听着嫌麻烦。 (p32)  
 53) 周朴园 (略) 这屋子摆的样子, 我愿意总是三十年前的老样子, 这叫我

的眼看着舒服一点。(p52)

しかし、戯曲の<ト書き>では、次のように、後続する動詞“说”がよく省略されている。これは戯曲の特殊性による現象である。

54) 鲁 四 (伶俐地笑着) 那回头您跟哥哥要吧。(p17)

55) 周蘩漪 (忧郁地看着周冲) 我心里不舒服。(p36)

更に、後続するはずの動詞が省略されている根拠として、“着”の使用されている動詞句の後ろには動詞を修飾するために用いられる連用修飾語(状語)が共起していることを挙げる事ができる。

56) 周蘩漪 (抑制着, 恨恶地, 低声) (p138)

57) 周 萍 (望着她, 沉重地) 不, 不——我们现在就走。(p153)

58) 鲁侍萍 (拉着四凤的手, 颤抖地) 凤, 你, 你要跟他走? (p155)

一方では、“着”が用いられている<ト書き>が後置されることもある。その台詞を言う時の<様態>を説明している。

59) 鲁 贵 我告诉你这一句话, 你再闹。(对着四凤的耳朵) (p29)

60) 周 萍 年轻人一时糊涂, 做错了的事。你就不肯原谅么?(苦恼地皱着眉) (p63)

61) 鲁四凤 (摇头) 萍! (还望着鲁妈) (p158)

### 3.3 パーフェクト性を表す場合

工藤真由美(1995:99)によれば、<パーフェクト>とは<ある設定された時点において、それよりも前に実現した運動がひきつづき関わり、効力をもっていること>である。<パーフェクト>は、それぞれ朱徳熙(1990)では<遺留状態>、望月圭子(2000)では<完成体>、銭乃栄(2000)では<存続体>と呼ばれている。perfect (ive)の訳語として、中国語では一般に<完成体>(または<完成時>)が用いられているが、意味的に考えると、<存続体>の方がふさわしいのではないかと思われる。本稿では、アスペクト的意味のバリエーションとして<パーフェクト>を使うこととする。

中国語では、<パーフェクト>を表現するための手段は多様化している。簡単に言うと、アスペクトのマークとされる“了”“着”“过”のいずれも<パー

フェクト>を表すことができる。ただし、“过”が<パーフェクト>というアスペクト的意味しか表さないのに対して、“了”と“着”はそれぞれ独自のアスペクト的意味（前述したように、前者は<ひとまとまり性+限界への達成性>、後者は<継続性>）を表すと同時に、<パーフェクト>をも表しているのである。特に“了”のパーフェクトの用法は最近よく取り上げられている。ここでは、焦点を“着”の用法に絞りたいと思う。“着”が<パーフェクト>を表す例文は四つの下位グループに分けられる。

### 3.3.1 取り付ける意味を持つ動詞の場合

動詞が<取り付け>というカテゴリカルな意味を表していて、存在文（存現句）を作っている。動作の主体が文中に現れないのが普通である。

62) 中间是个圆桌，铺着白桌布。(p4)

63) 柜上放着一个暖水壶，两只白饭碗，都搁在旧黄铜盘上。(p4)

### 3.3.2 開閉を表す意味を持つ動詞の場合

門などの位置的变化を表す動詞が“着”を従えている用法である。このタイプの文にも開閉の動作を行う主体を表す名詞が登場しないことになっている。

64) 周冲 没有吧，我在她的门上敲了半天，她的门锁着。(p132)

65) 鲁大海 铁门关着，叫不开，我爬墙进来的。(p144)

66) 中间的门开着，隔一层铁纱门，从纱门望出去，花园的树木绿荫荫的，并且听见蝉在叫。(p12)

### 3.3.3 身に付け動詞の場合

次に挙げるのは<身に付ける>という再帰的な意味を表す動詞が使われている例であるが、動作主体が現れることが多い。

67) 一位苍白的老年人走进来，穿着很考究的旧皮大衣。(p5)

68) 他戴着一副金边眼镜，进门后，也取下来，放在眼镜盒子内，手有些颤。(p5)

69) 他的大指套着一个板指。(p47)

### 3.3.4 くっつき動詞の場合

上に挙げた三つのタイプの文に意志動詞が使われているのと違って、この夕

イプの文に使われているのは<くっつき>というカテゴリカルな意味を表す無意志動詞である。

70) 她的衣服像是已烘干了一部分, 头发还有些湿, 鬓角凌乱地贴<sub>着</sub>湿的头发。(p154)

71) 周萍到底还是越过窗进来, 他满身泥泞, 右半脸沾<sub>着</sub>鲜红的血。(p126)

以上挙げた四種類の動詞による構文は、いずれも“着”を従えている動詞が<付着>という共通したカテゴリカルな意味を有している。このような共通したカテゴリカルな意味を持っている動詞が<パーフェクト性>を表現するに当たって“着”というマークを選択したのは、もともと動詞として用いられていた“着 zhuo”の語彙的な意味=<付着>とは無関係ではあるまい。言い換えれば、こういった構文では、“着 zhuo”の語彙的な意味がまだ生きているということである。これも、<パーフェクト性>を“着”の<派生的な意味>と呼ばず、<副次的な意味>と呼んでいる理由である。<付着>というカテゴリカルな意味を持たない動詞が<パーフェクト性>を表現する時には基本的に“着”の形を取らないという事実もこのことを証明している。上のような構文でも、“着”ではなく、“了 le”の形をとっても基本的に<パーフェクト性>を表すことができるのである。このことから、主に<パーフェクト性>を表す機能を果しているのは“了”ではあるが、<経験>を表す場合は“过”、<付着>を表す場合は“着”という機能上の分担が窺える。これを実証するのは今後の課題である。

### 3.4 反復性を表す場合

非常に用例が少ないが、“着”が<反復性>を表すこともある。この場合は、<頻度副詞>との共起が義務的なようである。基本的に習慣的な動作・反復的な動作を表す場合は、アスペクトのマークを使用しないことになっている。あえて“着”が用いられているのは他の理由が考えられそうである。例えば、例 72)、73) の場合は、“着”がないと文としては成り立たないだろう。例 74)、75) の場合は、「臨場感」を与えるために“着”が用いられているかもしれない。

72) 姑 乙 嗯, (多话地) 每到腊月三十, 楼下的就会出来, 到这屋子里;

在这窗户前面站着。(p8)

73) 她的面色不十分白, 天气热, 鼻尖微微有点汗, 她时时用手绢揩着。(p13)

74) 四凤立在窗户前, 偶尔深深地叹着气。(p100)

75) 鲁四凤 萍, 我, 总是瞒着你; (略) (p157)

#### 4. テキストにおける“着”の機能

従来の中国語のアスペクト研究は、マークに対する意味的な分析が中心であって、テキストにおけるアスペクトの機能に対しては、ほとんど無関心であった。アスペクトの果すテキスト的機能については、工藤真由美(1995)に注目すべき論述があるので、引用しておく。

アスペクトは、〈出来事(運動)の時間的様態〉を表すカテゴリーであると普通いわれ、またそうでもあるのだが、同時に〈出来事(運動)間の時間的關係〉を示すカテゴリーでもある。(中略)アスペクトは〈タクシス(temporal order)〉というテキスト構成的機能をはたす。(p. 63)

(前略)アスペクトという文法現象は、テキストのなかにある複数の出来事の時間的順序性(継起性・同時性・時間的後退性)を表し分ける機能を果す。「はじめにパロールありき」であって、このようなテキスト的機能ぬぎにはアスペクトという文法的カテゴリーの存在価値はない。逆にいえば、アスペクトという文法現象ぬぎには、テキストのなかの複数の出来事間の時間關係の提示という青写真は出来上がらないともいえる。(まえがき iii)

アスペクトのマークである“着”はテキストにおいて〈同時性〉というタクシス的意味を表している。つまり、二つの出来事が同じ時点に同時に存在することを表現する機能を持っている。次に挙げる例は、一つの出来事が存在していると同時にもう一つの出来事が挿入されることを表している。

76) [(略) 她(周繁漪——引用者) 不由自主地愧恨地望着自己的冲儿。

周朴园 (沉痛地) 萍儿, 你过来。你的生母并没有死, 她还在世上。(p164)

77) 雷更隆隆地响着, 屋子整个黑下来。(p128)

次の例のように、同一の主体が一つの動作を行っているうちにもう一つの新しい動作を行うことを表す用法もある。二つの動作は基準時点において同時ではあるが、例 78) のように“V着”によって表される先行する動作が継続している間に同一の主体がもう一つの動作を始め、更にそれが先行の動作と同時に継続している場合もあれば、例 79) のように先行する動作が継続している間に同一の主体による、もう一つのひとまとまりの動作が行われた、つまり新しい動作が挿入されたにも関わらず先行の動作がなお継続していることを表す場合もある。更に、例 80) のように新しく挿入した動作によって先行していた動作が止まったと考えられる場合もある。

78) 周繁漪 (诱惑地笑, 向周萍奇怪地招着手, 更诱惑地笑) (p141)

79) 鲁 贵 (望着她, 停下工作) 四凤, 你听见了没有? (p14)

80) [周萍由饭厅下, 繁漪的眼泪一颗颗地流在腮上, 她走到镜台前, 照着自己苍白色的有皱纹的脸, 便嚶嚶地扑在镜台上哭起来。] (p65)

一方では、“着”を使うと同時に、特別な語句の助けを借りて<同時性>を顕現化することもある。

81) 她那雪白细长的手, 时常在她轻(轻咳嗽的时候, 按着自己瘦弱的胸。(p31)

82) 鲁四凤 (狂喜地, 扔下线毯, 立起, 亲周萍的手, 一面擦着眼泪) (p153)

## 5. “着”の連用

3.1.1 では、“着”が使用されても文が終わらない現象を取り上げたが、ここでは、複数の“着”が同じ文に共起する現象、つまり“着”の連用に少し考察を加えたいと思う。量的に言うと、複数の“着”が共起する文は全部で 60 例あり、そのうち<台詞>における用例は 17 個、<ト書き>における用例は 43 個ある。<ト書き>に多いことは、場面や登場人物の説明には<同時>であることを表現することが必要だからである。“着”の連用の数から見ると、一つの文における二つの“着”の連用が最も多い。異例ではあるが、同一の文に共起する“着”が六個もあるという用例もあった。以下では、共起の“着”の数に従って分けて見てみよう。

## 5.1 二つの“着”の連用

“着”が同一の文に共起する場合は、それぞれ“着”が使用されている句の間にはいろいろな意味的なタイプができあがる。典型的なものを挙げておく。

### 5.1.1 並列の場合

“着”が使用されている動詞句が対等に並んでいる時は、動作や物の存在が<同時>であることを表していると考えられる。このような用法は、第4章で見た、テキストにおける“着”<同時>という機能の一つであることは考えられないこともないが、“着”の用いられた動詞句が二つ対等に並列されている場合は、<二つの動作などが同時に継続している>ことを表している。それに対して、4で見たように、テキストにおいて<同時>を表す“着”が一つしか使われていない場合は、必ずしも<二つの動作などが同時に継続している>ことを表しているとは限らない。

83) 周繁漪 (略)到处都偷偷地在我背后低着声音说话, 叽咕着。(略) (p139)

84) (略)床头上挂着一张烟草公司的广告画, 在左边的墙上贴着过年时贴上的旧画, 已经破烂许多地方。(略) (p99)

### 5.1.2 動作の様態を表す場合

後続する動詞が主要な動作を表し、先行する動詞はその動作を行う時の様態(=付属的な動作)を表している。これは3.1.2で見たものと同じであるが、後続する動詞も“着”の形を取っているから、それによって表されている主要な動作が継続していることを表現することになる。

85) [他的背略有点佝偻, 似乎永远欠着身子向他的主人答应着“是”。(略) (p13)

86) 鲁贵 (颓唐地坐在椅上, 低着头咕噜着) 这小杂种! (p104)

87) [中门轻轻推开, 繁漪回头, 鲁贵缓缓地走进来。他的狡黠的眼睛, 望着她笑着。(p142)

### 5.1.3 同時に存在する異なる主体の動作を表す場合

先行する動詞と後続する動詞はそれぞれ異なる主体による動作を表しているが、その二つの動作は<同時>の関係にある。



88) 〔半晌。四凤苦闷地叫了一声，看着她的母亲，鲁妈苦痛地低着头。(p164)

89) 〔老人又望一望立在窗前的老妇，转身坐在炉旁的圈椅上，呆呆地望着火，这时，姑乙在左边长沙发上坐下，拿了一本《圣经》读着。(p171)

#### 5.1.4 前提となる動作を表す場合

先行する動詞は後続する動詞の表す出来事存在の<前提>や<きっかけ>となる出来事を表している。二つの出来事は時間的には<同時>である。

90) 他穿的衣服，还是二十年前的新装，一件团花的官纱大褂，底下是白纺绸的衬衫，长衫的领扣松散着，露着颈上的肉。(p46)

91) 门大开，周朴园进，他约莫有五六十岁，鬓发已经斑白，带着椭圆形的金边眼镜，一对沉鸢的眼在底下闪烁着。(p46)

#### 5.2 三つの“着”の連用

“着”が同じ文に三つ共起している場合は、同じ主体の動作や様態を表すものもあれば(例92))、異なる主体の動作を表すものもある(例93))。

92) 〔鲁贵由右门上。脱去短衫，他只有一件线坎肩，满身肥肉，脸上冒着油，唱着春调，眼迷迷地望着鲁妈同四凤。(p122)

#### 5.3 四つの“着”の連用

93) 〔四凤由中门进，头发散乱，衣服湿透，眼泪同雨水流在脸上，眼角沾着淋漓的鬓发，衣裳贴着皮肤，雨后的寒冷逼着她发抖，她的牙齿上下地震战着。(略)(p152)

#### 5.4 五つの“着”の連用

94) 〔(略)鲁贵满身是汗，因为喝酒喝得太多，说话也过于费了力气，嘴里流着涎水，脸红得吓人，他好像很得意自己在家里面的位置同威风，拿着那把破芭蕉扇，挥着，舞着，指着。(略)(p100)

#### 5.5 六つの“着”の連用

95) 鲁贵就在这张桌子上点着一枝要灭不灭的洋蜡烛，我恍恍惚惚地看见两个穿着黑衣裳的鬼，并排地坐着，像是一男一女，背朝着我，那个女鬼像是靠着男鬼的身边哭，那个男鬼低着头直叹气。(p27)

## 6. 結びに代えて

以上、『雷雨』におけるアスペクトのマークである“着”を対象にその意味機能を記述してきた。本論を通じ、次のようなことがほぼ明らかになった。

① “着”はアスペクト的意味を表すだけでなく、条件付きでテンスの意味を表すこともできる。

② 戯曲という特殊な文体における“着”は、その果す<同時性>というテキスト的機能によって<ト書き>での使用回数が<台詞>での使用回数を大きく上回っている。これは“了”の使用とは対照的である。

③ “着”は<継続性>という主要なアスペクト的意味を表すが、<様態性><パーフェクト性><反復性>という副次的なアスペクト的意味を表すこともできる。<パーフェクト性>を表す場合は、その付く動詞の語彙的な意味とは無関係ではない。

④ “着”のテキストにおける機能は、複数の出来事の間にある<同時>という時間的な関係を表すことである。

⑤ “着”が連用されることも少なくない。その場合、並列される出来事の間関係はいくつかのタイプに一般化することができる。

今後の課題としては以下のようなものが残されている。例えば、次の二例における“提着”と“为着”の“着”は“了”に置き換えられるという点である。

96) 后面跟着鲁贵，提着一个旧包袱。(p67)

97) 鲁 贵 (汹汹地) 讲脸呢，又学你妈的那点穷骨头，你看她，她要脸! 跑他妈的八百里外，女学堂里当老妈，为着一月八块钱，两年才回一趟家。(略) (p15)

また、次の二例における“着”を省略してもアスペクトの意味が変わることはないという点である。

98) 周蘩漪 (略) 我恨我早没有知道你! (p64)

99) 周蘩漪 你这一次到矿上去，也是学你父亲的英雄榜样，把一个真正明白你，爱你的人丢开不管么? (p64)

このように、アスペクトのマーク(“了”“着”“过”)の間の相互関係や有標

## “着 zhe”の意味機能に関する考察

と無標の使い分けなどは明らかにしなければならず、鋭意研究を進めていきたい。

### 注

- 1) ここで言っている<ト書き>は正確に言うと、<台詞>以外の文字を指している。それは三つの部分から成り立っている。一つはその幕の始まる時の背景についての説明であり、何も記号で記されていない。もう一つは特定の場面(情景)全体についての説明であり、「[ ]」で始まる文章である。もう一つは特定の登場人物の動きについての説明・指示であり、その人の名前の後ろにある、「( )」で記されている文字である。
- 2) 工藤真由美(1995:8)参照。この表にある考え方は奥田靖雄(1977)によって初めて提起されている。

### 参考文献

- 朱德熙 1990 <“在黑板上写字”及相关句式>《语法丛稿》上海教育出版社  
黎天睦 1994 <论“着”的核心意义>《功能主义与汉语语法》北京语言学院出版社  
张 黎 1996 <“着”的语义分布及其语法意义>《语文研究》“着”第1期  
戴耀晶 1997《现代汉语时体系统研究》浙江教育出版社  
李铁根 1999《现代汉语时制研究》辽宁大学出版社  
陈月明 1999 <时间副词“在”与“着<sub>i</sub>”>《汉语学习》第4期  
陆俭明 1999 <“着(·zhe)”字补议>《中国语文》第5期  
望月圭子 2000 <汉语里的“完成体”>《汉语学习》第2期  
钱乃荣 2000 <体助词“着”不表示进行意义>《汉语学习》第4期  
奥田靖雄 1977「アスペクトの研究をめぐって——金田一段階」『国語国文』8号  
工藤真由美 1995『アスペクト・テンス体系とテキスト』ひつじ書房  
(かく うんき・お茶の水女子大学大学院博士後期課程)